

平成25年度(2013 年度)事業報告
(2013 年 4 月 1 日—2014 年 3 月 31 日)

事業概況

- ・ 第33回猿橋賞の贈呈を行い、第34回猿橋賞の募集および選考を例年通り行った。
- ・ 一般財団法人女性科学者に明るい未来をの会の事業を遂行した。

第 33回猿橋賞授賞者記者会見

- ・ 平成 25 年(2013 年)4 月 26 日学士会館
- ・ 出席者:受賞者 肥山詠美子氏、米沢会長、高山選考委員長、高橋理事
- ・ 取材報道機関:読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、日刊工業新聞、日本経済新聞、東京新聞、産経新聞、共同通信、時事通信
- ・ 4月26日以降、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞、東京新聞、日本経済新聞、共同通信、時事通信を通じて、各地主要地方紙に掲載された。

第 33回猿橋賞授賞式

参会者 144名

特別講演:宮岡礼子東北大学大学院理学研究科教授「来し方行く末」

授賞式:

高山選考委員長による選考経過報告

猿橋賞の贈呈

受賞記念講演:

肥山詠美子理化学研究所仁科加速器研究センター准主任研究員

「量子少数多体系厳密計算法の確立とその展開」

座長 田村裕和 東北大学大学院理学研究科教授

猿橋賞受賞者選考

- ・ 平成 25 年6月第34回猿橋賞推薦の募集の開始をホームページ上に公示。学協会へは電子メールで広報を依頼。
- ・ 平成25年11月末日応募締め切り、応募者は16名。
- ・ 1次選考・2次選考の2回の選考委員会を開催し、受賞候補者を選考した。
- ・ 理事会において、大分大学全学研究推進機構教授一二三恵美氏を第34回猿橋賞受賞者と決定した。受賞研究題目:「機能性タンパク質『スーパー抗体酵素』に関する研究: Studies on“Super Catalytic Antibody”」

公益財団法人への移行の検討

- ・ 公益財団法人への移行に向けての検討を引き続き行った。

理事会に関する事項

第 1 回理事会

平成 25 年(2013 年)5 月 25 日東海大学校友会館

総理事数7名中7名出席、監事2名出席

承認事項

1. 第 1号議案 平成 25 年度事業報告を承認
2. 第 2 号議案 平成 25 年度決算を承認
3. 第 3 号議案 高山一理事を選考委員長とし、全選考委員の重任を承認
4. 第 4 号議案 旅費規定の内規を制定
5. 第 5 号議案 理事の補充を役員改選の行われる 26 年度の定時評議員会に提案する。

報告事項

- 1.公益信託女性科学者研究助成基金運営委員会について、平成 24 年度決算を承認したことへの報告。

第2回理事会

平成 26 年(2014 年)1 月 21 日 学士会館

総理事数7名中6名出席、監事1名出席

承認事項

1. 5月24 日に行われる第34回猿橋贈呈式の前に、特別講演を行うことについて、承認。

報告事項

- 1.高山選考委員長から、第34回猿橋賞第1回選考委員会の報告。
- 2.室伏会計担当理事から、平成25年度上半期の中間決算の報告。
- 3.高橋庶務担当理事から、第33回猿橋賞参加状況等、業務概要の報告。

第3回理事会

平成 26 年(2014 年)3 月 15 日 学士会館

総理事数7名中 7 名出席、監事 2 名出席

承認事項

- 1.高山選考委員長からの報告を受け、選考委員会から推薦された大分大学全学研究推進機構教授一二三恵美氏を第34回猿橋賞受賞者とすることを決定。
- 2.平成26年度事業計画を承認。
- 3.平成26年度収支予算を承認。
- 4.当会の収支を健全化するため、寄付・賛助

会費を増やすことの検討。

5 定時評議委員会を5月24日に招集することを決定。

6. 選考委員北澤京子氏の辞任を承認。

報告事項

1.5月24日に行われる特別講演演者は、大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構理事、長浜バイオ大学特別客員教授郷通子氏。講演タイトルは「研究は挑戦と人の繋がり」。

評議員会に関する事項

平成 25 年度定時評議員会

平成 25 年(2013 年)5 月 25 日東海大学校友会館

総評議員数 3 名中 2 名出席、監事 2 名出席
承認事項

1.第1号議案 平成 25 年度事業報告を承認

2.第 2 号議案 平成 25 年度決算を承認

提出書類

i 貸借対照表

ii 損益計算書(正味財産増減計算書)

iii 貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属書類

選考委員会に関する事項

第34回猿橋賞第1回選考委員会

平成 26 年(2014 年)1 月 21 日学士会館

出席者:高山一(委員長)、家泰弘、宮岡礼子、梅澤喜夫、栗原和枝、御園生誠、黒岩常祥、持田澄子、石田瑞穂、観山正見、北澤京子、瀬川茂子、滝田恭子 各委員

・「一次選考評価結果」に基づき候補者 16 名のうち 2 次選考に残す候補者 7 名と各候補者の業績に対する正・副査読担当委員および担当メディア委員を決定した。

第 34 回猿橋賞第 2 回選考委員会

平成 26 年 3 月 15 日 学士会館

出席者:高山一(委員長)、家泰弘、鳥養映子、早野龍五、宮岡礼子、梅澤喜夫、川合真紀、栗原和枝、御園生誠、黒岩常祥、齋藤忠夫、館野義男、石田瑞穂、北澤京子、瀬川茂子、滝田恭子 各委員

・2 次選考にかけられた 7 名それぞれについて、業績の査読委員・メディア委員の評価の報告を得て、議論し、2 段階の投票の結果、第 34 回猿橋賞受賞候補者として、一二三恵美氏を選考した。